

知ろう！心のバリアフリー

1. いろいろな人がいることを知る

～ 世の中に同じ人はいない。みんなそれぞれなやみや困っていることがある ～

人はだれもが違っている

社会(世の中)に、あなたと同じ人は一人もいません。みんなそれぞれ特性があります。



<話す内容>

- ・「見た目で分かりやすい特性」から学ぶ。

・お年寄り、小さい子どもを連れている人、お腹に赤ちゃんがいる人、右利きの人、左利きの人、身体に障がいのある人、ケガをしている人、外国人など。

・外国人は、見た目だけでなく文化や宗教の違いがあることも触れ、次ページの「目で見て分かりづらい個性」につなげる。

《児童にやってもらいたいこと》

- ・スライド例以外に、どのような特性を持った人がいるか、児童に考えてもらう。

【ポイント】

・学校やまち中に様々な特性を持った人がいることを伝え、児童と関係ない世界の話ではなく、自分ごととして捉えてもらう。

見た目では分かりにくい特性

社会(世の中)に、あなたと同じ人は一人もいません。みんなそれぞれ特性があります。



自分にも当てはまる
特性はあるかな？
自分にはない特性は
どれだろう？



<話す内容>

・特性には「見た目では分かりにくい特性」もある。

・おなかが痛くなりやすい、ペースメーカーを付けている、色の見え方がちがう、緊張しやすい、過度に心配してしまう、大きな音が苦手、忘れ物が多い、など。

《児童にやってもらいたいこと》

・スライド例以外に、どのような特性を持った人がいるか、児童に考えてもらう。(味覚障がい、睡眠障がい、更年期障害など)

【ポイント】

・内部障がい、精神障がい、発達障がいについて伝える。

困っていることは一人一人ちがう

特性は一人一人ちがうので、困っていることも一人一人ちがいます。

①～③の人たちは、どのような特性を持っていて、何に困っているのでしょうか？

①

ここにある、このころ。

やさしさの巡る街、茅ヶ崎



茅ヶ崎バリアフリー推進協議会
イラスト：Loose Drawing

②

ここにある、このころ。

やさしさの巡る街、茅ヶ崎



茅ヶ崎バリアフリー推進協議会
イラスト：Loose Drawing

③

ここにある、このころ。

やさしさの巡る街、茅ヶ崎



茅ヶ崎バリアフリー推進協議会
イラスト：Loose Drawing

<話す内容>

- ・特性が人によって違うということは、困っていることも一人一人違う。

《児童にやってもらいたいこと》

- ・①～③は、どのような特性を持っている人が、どのようなことに困っているのか、考えてもらう。

【ポイント】

- ・ヘルプマークについても触れる。

2. 「バリア」を知る

～ 特性があるから困りごとがあるのではない。「バリア」があるから困りごとがある ～

なぜ困りごとが起きるのか（1）

困りごとが起きてしまうのは、

人の特性 × 社会(世の中) = 困りごと

<話す内容>

- ・ 「一人一人が持つ特性」と「社会（世の中）」が相互作用して「困りごと」になる。

※次のスライドで具体的に説明するため、このスライドでは、抽象的な説明となっている。

なぜ困りごとが起きるのか（2）

人の特性	×	社会(世の中)	=	困りごと
車いすを使っている	×	かいだんしかない	=	いどうできない
色のちがいが 分かりにくい	×	黒板に 白い文字と黄色い文字が 書かれている	=	大事なところが 分からない
せいしんしょうがい	×	こわいと思いきこむ	=	さけられてしまう

<話す内容>

(例1)

車いすを使っている人がいて、階段しかない場合、「階段しかないから、移動できない」という困りごとが生まれる。車いすを使っているだけでは何も困らない。

(例2)

色の違いが分かりにくい人がいて、黒板に白いチョークで文字を書いているところに、重要なことを黄色いチョークで文字を書いた場合、「白と黄色の区別がつかず、何が重要なのか分からない」という困りごとが生まれる。

(例3)

「精神障がいがある人は何をするか分からないから怖い」などと周りの人が一方的に思い込んだ場合に、避けられてしまうという困りごとが生まれる。精神障がいが困りごとの原因ではなく、周囲の人の誤った思い込みが困りごとの原因になる。

「バリア」は社会（世の中）にある

人の特性	×	社会(世の中)	=	困りごと
車いすを使っている	×	かいだんしかない	=	いどうできない
色のちがいが 分かりにくい	×	黒板に 白い文字と黄色い文字が 書かれている	=	大事なところが 分からない
せいしんしょうがい	×	こわいと思ひこむ	=	さけられてしまう

「バリア」 特性のある人にとって、かべになったりじゃまになったりするものごと

<話す内容>

- ・ 困りごとの原因は、一人一人が持つ特性ではなく、社会（世の中）にある。
 - ・ 「バリア」とは、特性のある人にとって、壁になったり邪魔になったりするものごとを言う。
 - ・ さまざまなバリアがあることについて、例を交えつつ説明する。
- ①物理的なバリア→目に見える物によって生じるバリアのこと。（例）車いす使用者にとっての段差
 - ②制度的なバリア→決まりごとによって生じるバリアのこと。（例）かつて女性には選挙権がなかった
 - ③情報面のバリア→情報の伝え方が限られているため生じるバリアのこと。（例）視覚障がい者にとっての文字案内がない乗り物
 - ④意識上のバリア→一方的な思い込みや無関心などによって生じるバリアのこと。（例）男性は泣いてはいけない

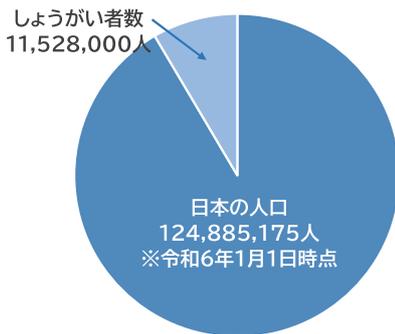
《児童にやってもらいたいこと》

- ・ 他にどのようなバリアがあるか、児童に考えてもらう。
- （例）
- ①物理的：手すりがない、
 - ②制度的：就職で男女差をつける、食べられない物があっても食事を残してはいけない
 - ③情報面：音が鳴らない信号、日本語しかないメニューや説明書
 - ④意識上：障がい者はかわいそうと決めつける、視覚障がい者用誘導ブロック上に物を置く

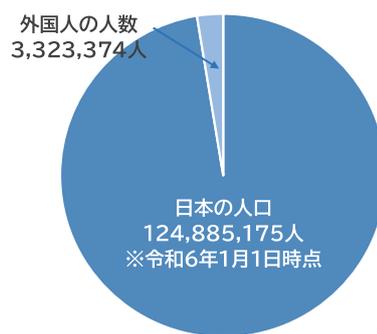
なぜ社会（世の中）にバリアがあるのか

社会（世の中）は多数の人たちが便利ならよい、という考えでつくられてきたからです。つまり、多数ではない人にとっては、バリアがたくさんあります。

日本の人口としょうがい者数



日本の人口と外国人の人数



少ない人たちのことは考えなくてもいいのかなあ？

日本人は、日本にいたら多いほうだけど、世界の中では少ないほうだね。



※令和6年版「障害者白書」(内閣府)より ※住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(総務省)

<話す内容>

- ・バリアがある一つの理由として、社会（世の中）が目立った特性のない「多数の人たち」が便利になるように作られてきたから、という考え方がある。
- ・だから、多数派に当てはまらない人（例として、障がい者や外国人）にはバリアが多い。

【ポイント】

- ・多数派の人たちだけが便利な社会（世の中）は、豊かな社会（世の中）ではないことを伝える。

3. 「心のバリアフリー」を知る

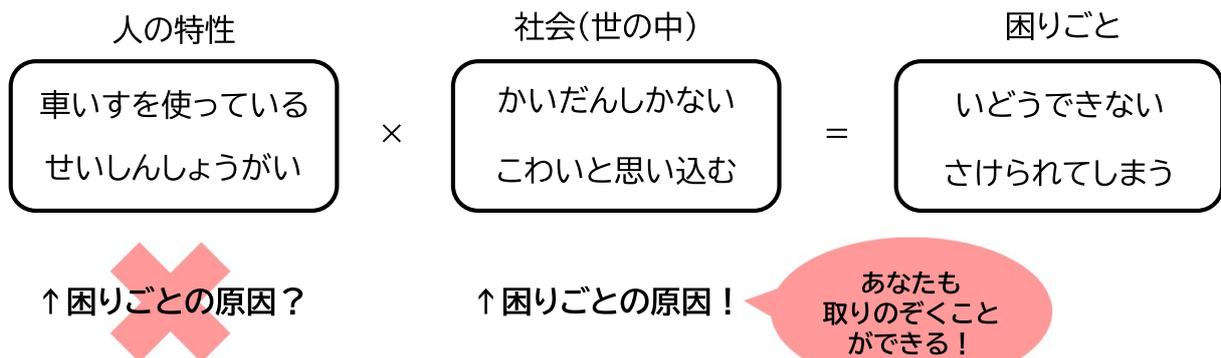
～ 分かり合おうとして、ささえ合う ～

「心のバリアフリー」のポイント（1）

「しょうがいの社会モデル」をりかいする

「しょうがいの社会モデル」とは・・・

「困りごと」の原因は、人ではなく社会(世の中)にあり、取りのぞくことができる！



<話す内容>

・心のバリアフリーを実現するためのポイントは3つあると説明した上で、1つ目である「障害の社会モデル」について説明する。

・困りごとの原因は、人それぞれの特性ではなく、社会（世の中）にある。

・人の特性を変えるのではなく、社会（世の中）を変えることで困りごとは無くすることができる。

【ポイント】

・児童自身が、社会（世の中）を変えることができることを伝える。

「心のバリアフリー」のポイント（２）

「さべつ」をしない。「ごうりの配りよ」をする。

さべつ

- ✓もうどう犬を店に入れない
- ✓女性だから社長にしない

ごうりの配りよ

- ✓しんごうが変わったことを伝える
- ✓分かりやすい言葉でせつめいする



「さべつ」その人の個性だけで、他の人とちがうあつかいをする事。
「ごうりの配りよ」自分がむりなくできる工夫やお手伝いをする事。

<話す内容>

- ・社会（世の中）を変えるために、児童は何をすればよいか。
- ・それは、「差別をしない」、「合理的配慮をする」こと。

《児童にやってもらいたいこと》

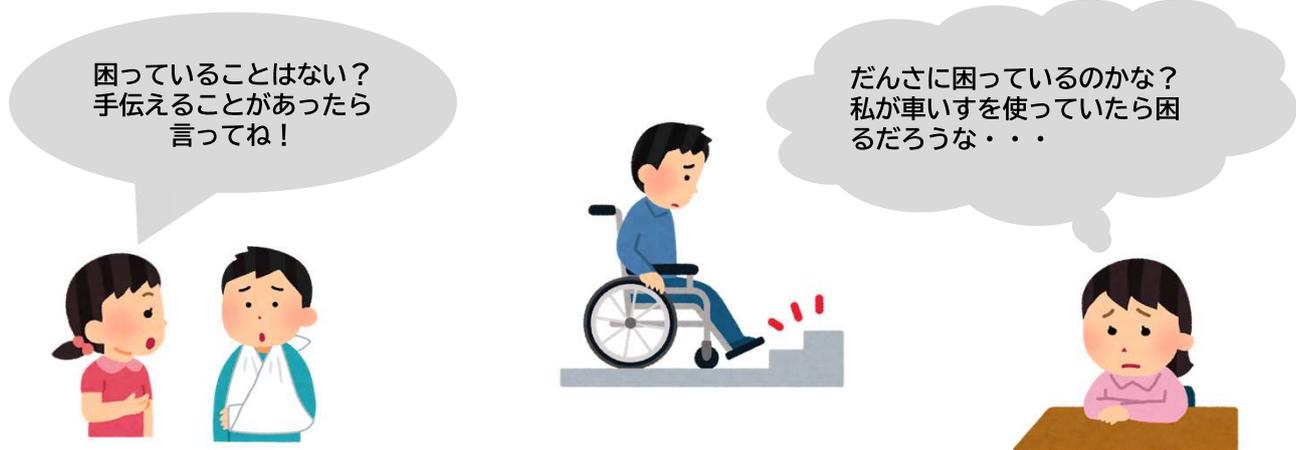
- ・スライドに例示したほかに、「差別」や「合理的配慮」にはどのようなものがあるか、児童に発言を促す

【ポイント】

自分ひとりで解決できない場合は、周りの人に助けをもらうことも、合理的配慮であることを伝える。

「心のバリアフリー」のポイント（3）

コミュニケーションをとる。困りごとをそうぞうし、共感する。



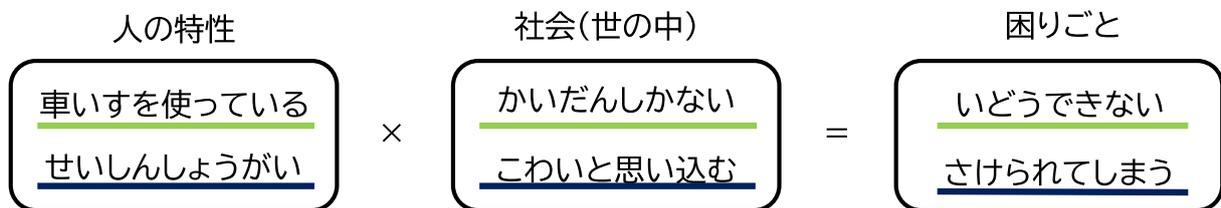
<話す内容>

- ・ポイントの3つ目は、「コミュニケーションをとる。困りごとを想像し、共感する」こと。
- ・特性は人によって違うし、困っていることも人によって違う。自分以外の人のことは知ろうとしなければ何も分からない。
- ・思い込みで行動せず、相手が希望することを聞くことが大切。
- ・コミュニケーションをとり、相手の立場に立って想像し、共感する人が増えることでみんなにとって優しい世の中・過ごしやすい世の中になる。

【ポイント】

「児童自身ができること」であることを伝える。

「心のバリアフリー」のポイント（3）（つづき）



- ↓
- ・困りごとをそうぞうし、共感する。
 - ・コミュニケーションをとる。
 - ・**「自分に何ができるか」**を考えて行動する。

- ・先生に車いすを使っている人が困っていることを伝える
・どのような特性なのか分かろうとする

<話す内容>

- ・人の特性ではなく、社会（世の中）を変えることで困りごとを無くすことができる。
- ・社会（世の中）を変えるために児童ができること、それは、コミュニケーションをとって「自分に何ができるか」を考え、行動すること。
- ・例えば、学校に階段しかなくて車いすに乗っている児童が困っていたら、先生を呼んで助けを求める
- ・精神障がいがある人を一方的に怖いと決めつけずに、どのような特性なのかを理解しようとする

【ポイント】

- ・「自分に何ができるか」を考え、行動することが大切であることを伝える。

「心のバリアフリー」とは

様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、
そうごにりかいを深めようとコミュニケーションをとり、ささえ合うこと



社会(世の中)に、あなたと同じ人は一人もいない。

気持ちや考え方、身体は一人一人ちがう。

だから、おたがいに話し合っ、分かり合おうとして、ささえ合うことが必要。

<話す内容>

・心のバリアフリーについて、定義を説明した後、平易な言い回しにした文章（赤字部分）をメインに説明する。

4. まとめ

今日のまとめ

- ✓ 気持ちや考え方、身体の特徴は一人一人ちがうから、困りごとも一人一人ちがう。
- ✓ 困りごとが起きる原因は、社会(世の中)にバリアがあるから。
- ✓ 社会(世の中)のバリアをなくすために、あなたにできることがある。
- ✓ おたがいに話し合っ、分かり合おうとして、ささえ合うことが必要。

<話す内容>

授業のまとめをスライドに沿って説明する。

考えてみよう！心のバリアフリー (コミュニケーション編)

1. ふりかえり

人はだれもが違っている

社会(世の中)に、あなたと同じ人は一人もいません。みんなそれぞれ特性があります。



<話す内容>

- ・世の中にはあなた（児童）と同じ人は一人もいない。それぞれに特性がある。

【ポイント】

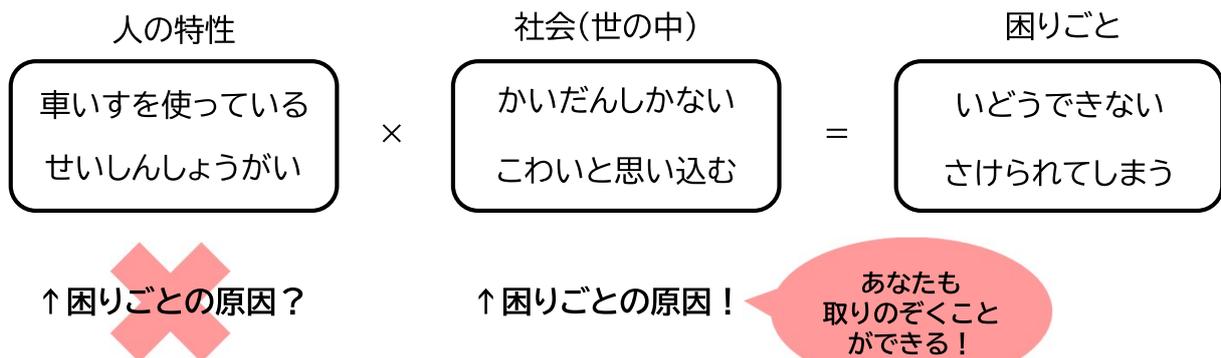
- ・見た目で分かりやすい特性、見た目では分かりにくい特性があることを伝える。

「心のバリアフリー」のポイント（1）

「しょうがいの社会モデル」をりかいする

「しょうがいの社会モデル」とは・・・

「困りごと」の原因は、人ではなく社会(世の中)にあり、取りのぞくことができる！



<話す内容>

・心のバリアフリーを実現するためのポイントは3つあると説明した上で、1つ目である「障害の社会モデル」について説明する。

・困りごとの原因は、人の特性ではなく、社会（世の中）にある。

・人の特性を変えるのではなく、社会（世の中）を変えることで困りごとは無くすることができる。

【ポイント】

・児童自身が、社会（世の中）を変えることができることを伝える。

「心のバリアフリー」のポイント（２）

「さべつ」をしない。「ごうりの配りよ」をする。

さべつ

- ✓もうどう犬を店に入れない
- ✓女性だから社長にしない



ごうりの配りよ

- ✓しんごうが変わったことを伝える
- ✓分かりやすい言葉でせつめいする

「さべつ」その人の個性だけで、他の人とちがうあつかいをすること。
「ごうりの配りよ」自分がむりなくできる工夫やお手伝いをする事。

<話す内容>

- ・社会（世の中）を変えるために、児童は何をすればよいか。
- ・それは、「差別をしない」、「合理的配慮をする」こと。

《児童にやってもらいたいこと》

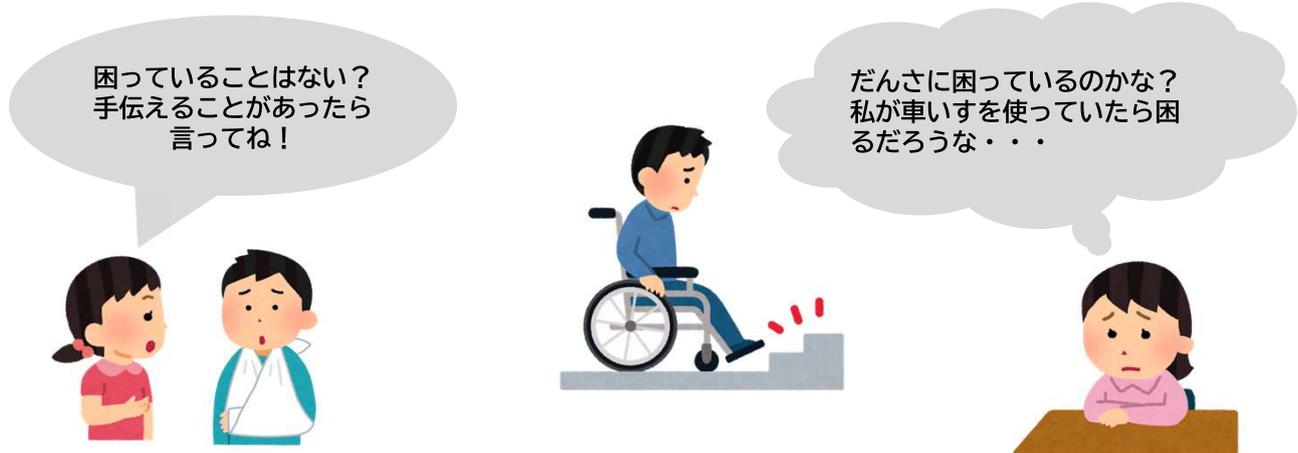
- ・スライドに例示したほかに、「差別」や「合理的配慮」にはどのようなものがあるか、児童に発言を促す

【ポイント】

自分ひとりで解決できない場合は、周りの人に助けをもらうことも、合理的配慮であることを伝える。

「心のバリアフリー」のポイント（3）

コミュニケーションをとる。困りごとをそうぞうし、共感する。



<話す内容>

・ポイントの3つ目は、「コミュニケーションをとる。困りごとを想像し、共感する」こと。

・特性は人によって違うし、困っていることも人によって違う。自分以外の人のことは知ろうとしなければ何も分からない。

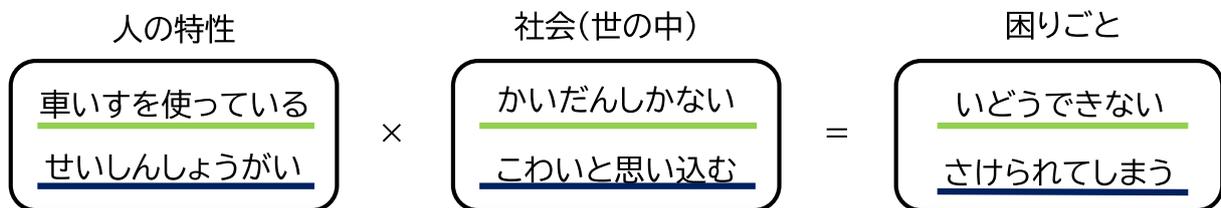
・思い込みで行動せず、相手が希望することを聞くことが大切。

・コミュニケーションをとり、相手の立場に立って想像し、共感する人が増えることでみんなにとって優しい世の中・過ごしやすい世の中になる。

【ポイント】

「児童自身ができること」があることを伝える。

「心のバリアフリー」のポイント（3）（つづき）



- ↓
- ・困りごとをそうぞうし、共感する。
 - ・コミュニケーションをとる。
 - ・**「自分に何ができるか」**を考えて行動する。

- 先生に車いすを使っている人が困っていることを伝える
どのような特性なのか分かってもらう

<話す内容>

- ・人の特性ではなく、社会（世の中）を変えることで困りごとを無くすことができる。
- ・社会（世の中）を変えるために児童ができること、それは、コミュニケーションをとって「自分に何ができるか」を考え、行動すること。
- ・例えば、学校に階段しかなくて車いすに乗っている児童が困っていたら、先生を呼んで助けを求める
- ・精神障がいがある人を一方的に怖いと決めつけずに、どのような特性なのかを理解しようとする

【ポイント】

- ・「自分に何ができるか」を考え、行動することが大切であることを伝える。

「心のバリアフリー」とは

様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、
そうごにりかいを深めようとコミュニケーションをとり、ささえ合うこと



社会(世の中)に、あなたと同じ人は一人もいない。

気持ちや考え方、身体は一人一人ちがう。

だから、おたがいに話し合っ、分かり合おうとして、ささえ合うことが必要。

<話す内容>

・心のバリアフリーについて、定義を説明した後、平易な言い回しにした文章（赤字部分）をメインに説明する。

2. 共感する

～ 困っている人の声を聞き、コミュニケーションの大切さを知る ～

【 動画（約3分×5人） 】

身体障がい者

精神障がい者

お年寄り

小さい子ども連れ

日本語が不自由な人

< 動画の内容 >

- ・ 自身の特性について
- ・ 自身の特性ならではの社会的障壁について
- ・ コミュニケーションの大切さについて

【ポイント】

- ・ 児童が共感できるような場面の社会的障壁について話してもらう。
- ・ 困っている人に対して、一方的な思い込みで接するのではなく、コミュニケーションを取ることの大切さを話してもらう。
- ・ 困ったら、相手に伝える必要性を話してもらう。

3. そうぞうする

～ 困りごとをそうぞうし、コミュニケーションの大切さを知る ～

バリアをそうぞうする（1）

学校の遠足で、公園に行くことになりました。

どのような人が、どのようなことで困るのか

考えてみましょう。



バリアをそうぞうする（2）

【遠足の5日前♪】

遠足のしおりを見ながら、先生のせつめいを聞きます。

どのような人が、どのようなことで困るでしょうか？

（例）耳が不自由な人は、先生のせつめいを聞くことができない。



<回答例>

- ・視覚障がいの方は、しおりを見ることができない。
- ・日本語が不慣れな外国人の転校生や発達障がいの方は、難しい言葉や漢字を理解することができない。

【ポイント】

- ・情報のバリアについて考える。

バリアをそうぞうする（3）

【遠足の前日♪】

スーパーで、遠足に持っていくおかしを買います。

カゴを持つ、カートを押す

おかしを探す、取る

有人レジやセルフレジで

会計

袋づめ・・・

どのような人が、どのようなことで困るでしょうか？

（例）車いすを使っている人は、高い場所にあるおかしに手がとどかない。



<回答例>

- ・視覚障がいの方は、どこにお菓子があるか分からない。値段が分からない。
- ・手をケガしている人は、袋詰めができない。

【ポイント】

- ・物理的なバリアについて考える。

バリアをそうぞうする（４）

【遠足の日♪】

目的地の公園ですごします。

お弁当を食べる

自由時間

トイレに行く

集合して点呼する・・・

どのような人が、どのようなことで困るでしょうか？

（例）ケガしている人は、遊びにさそわれにくい。



<回答例>

- ・視覚障がいの方は、トイレの場所が分からない。
- ・聴覚障がいの方は、集合の声や笛、点呼の順番が分からない。

【ポイント】

- ・意識のバリアがあることを知る

4. コミュニケーションを取る

～ 困ったら伝えよう、伝えられたら相手の気持ちを分かろうとしよう ～

コミュニケーションを取ることの大切さを知る（1）

【遠足の5日前♪】

遠足のしおりを見ながら、先生のせつめいを聞きます。

ところが、目が不自由な人は、しおりを見るできません。

この困りごとをなくすために、**どのような方法**があるでしょうか？

<回答例>

- ・読み上げアプリを使う。
- ・点字のしおりをつくる。
- ・しおりを読み上げる。

【ポイント】

- ・ソフト、ハードだけでなく、児童自身ができることも考える。

コミュニケーションを取ることの大切さを知る（2）

【遠足の前日♪】

スーパーで、遠足に持っていくおかしを買います。

ところが、あなたは足をケガして車いすを使っているため、

たなの高い所にあるおかしが取れません。

そのおかしを取るために、**あなたはどうしますか？**

<回答例>

- ・ 道具を持っていく。
- ・ お菓子を取って欲しいと伝える。

【ポイント】

- ・ 人に伝えることの大切さを学ぶ。

コミュニケーションを取ることの大切さを知る（3）

【遠足の日♪】

目的地の公園で過ごします。

手をケガをしているため、昼食に時間がかかっている友だちがいます。

あなたはどうしますか？

<回答例>

- ・弁当箱が動かないように抑えたり、水筒を開ける。
- ・時間がかかっていることを先生に知らせる。
- ・何かできることある？して欲しいことある？と聞く。

【ポイント】

- ・決めつけによるサポートではなく、コミュニケーションを取ることの大切さを学ぶ。

考えてみよう！心のバリアフリー

（障がいの社会モデル編）

1. バリアを減らす工夫

～ 身近なところに、バリアを減らす工夫がある～

バリアを減らす工夫（1）

ピクトグラム(図記号)

日本語が分からない人や、小さい字が読みにくい人にもじょうほうが伝わりやすい



<話す内容>

- ・社会（世の中）には、社会的障壁を減らす工夫がある。
- ・ピクトグラムは、日本語が分からない人や、小さい字が読みにくい人にも情報を伝えることができる。情報のバリアフリー例。

【ポイント】

- ・クイズ形式で児童に問いかける。

<正解>

左から、女性、男性、エレベーター、非常口

バリアを減らす工夫（２）

クイズ！

このピクトグラム(図記号)は、どのような意味でしょうか？



<正解>

- ・ 障がいのある人が使える設備

【ポイント】

- ・ 車いす使用者だけではなく、障がいのある人すべて。

バリアを減らす工夫（3）

クイズ！

ふたつの水道があります。どちらの水道の方がいろいろな人が使いやすいでしょうか？



<正解>

- ・右の方が使いやすい。物理的バリアフリーの例。

【ポイント】

- ・なぜ左が使いにくいのかを問いかける。
- ・学校にも、バリアフリーの工夫がされている物があることを伝える。

バリアを減らす工夫（４）

クイズ！

教室の工事をして、左の黒板から右の黒板に変わりました。右の黒板は、いろいろな人が使いやすいように、ある工夫がされています。それは何でしょうか？



<正解>

- ・使う人に合わせて、上下に動かすことができる。物理的バリアフリーの例。

バリアを減らす工夫（５）

クイズ！

シャンプーとボディソープ、見なくても区別できる工夫がされています。

それは何でしょうか？



<正解>

・シャンプーのポンプ部分や容器側面には凹凸加工がされており、ボディソープのポンプ部分や容器側面には一本線の加工がされている。
触ることによりシャンプーとボディソープの区別することができる。

【ポイント】

・身近なところにも、バリアフリー（ユニバーサルデザイン）の工夫があることを伝える。

2. バリアを減らす社会の取組

～ 社会(世の中)には、バリアを減らすこんな取組がある ～

バリアを減らす社会の取組（1）

かながわ県「みんなのバリアフリーまちづくりじょうれい」

しょうがいのある人、お年より、おなかに赤ちゃんがいる人、小さい子どもを連れている人などが安心して生活し、自分の意志で自由にいどうし、社会にさんかすることができるバリアフリーのまちづくりを進めていくためのじょうれい

「じょうれい」かながわ県やちがさき市などが、そのちいきのために作るきまりごと

<内容>

- ・児童に身近でない取組について教える。
- ・趣旨は、「様々な特性を持つ人たちが、自分の意志で自由に移動し、様々なことに参加できるようにバリアフリーのまちづくりを進めていくこと」
- ・「条例」という言葉の意味も簡単に伝える。

バリアを減らす社会の取組（２）

コミュニケーションボード

話し言葉でのコミュニケーションが難しい人が、イラストを指差しすることで、話したいことを伝える道具。

- ・耳が聞こえない人
- ・話すことが苦手な人

などが使用する。

コミュニケーションボード 〈医療機関用〉 —医師・看護師用—



●お名前は？ ●生年月日(誕生日)は？

●どうしましたか？



神奈川県ホームページ「コミュニケーションボード（救急用・医療機関用・災害用）」
(<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/n7j/shuwa/board.html>) より引用

< 内容 >

- ・掲載している物は、病院で使うコミュニケーションボードの例。イラストを指差しすることで症状を伝えることができる。

バリアを減らす社会の取組（3）

オンライン参加

ケガや身体しょうがいによっていどうが難しい人でもさんかできるように、パソコン、スマホ、タブレットなどを使って、様々なイベントなどが行われている。

（例）

- ・オンライン工場見学
（おかし工場、自動車工場など）
- ・学校のじゅぎょう
- ・ゲーム

手話

耳が聞こえない人とコミュニケーションをとるために、手指やひょうじょうで伝える。

（例）

- ・ニュース番組
- ・スポーツイベント
- ・びょういん



<内容>

- ・オンライン参加は、ケガや障がいによって移動が難しい人でもパソコン、スマホ、タブレットから様々なイベントなどに参加できるように工夫されている。
- ・手話通訳は、耳の聞こえない人にも手や指で様々な形を作って、伝えたいことを伝える手段。テレビのニュース番組などで使われている。

バリアを減らす社会の取組（４）

心のバリアフリー教室

	これまでに行った学校
令和元年度 ～4年度	つるみね 鶴嶺小
令和5年度	つるみね むろ しお 鶴嶺小、室田小、汐見台小、 なみ しょうりん 松浪小、松林小
令和6年度	つるみね つる がん 鶴嶺小、鶴が台小、東海岸小、 しお 汐見台小



- ・ 令和元年度から開始して、これまで7校で実施した。

3. 障がいの社会モデルを考える

～ 自宅ですごすとき、どのような方法で困りごとを取りのぞくことができる？ ～

障がいの社会モデルを考える（1）

おなかに赤ちゃんがいる、お年寄り、びょうき、ケガなど、さまざまなりゆうで、立ったり座ったりすることが大変な人がいます。

次の場面で、**どのような物**があると良いでしょうか？



①げんかんでくつをはく
あると良い物

：



②おふろに入る
あると良い物

：



③しんしつで寝る
あると良い物

：

<回答例>

- ①長いくつべら、手すり、腰掛け
- ②手すり、壁が低い浴槽、上下するシャワー
- ③ベッド

障がいの社会モデルを考える（2）

ちようかくしょうがいがあり、音が聞こえない人がいます。

目ざまし時計がなっても、起きることができません。

どのような物があると良いでしょうか？

また、**あなたができること**は何でしょうか？

あると良い物：

あなたができること：



<回答例>

あると良い物：バイブレーター付き腕時計

あなたができること：体に触れて起こす

障がいの社会モデルを考える（3）

ちょうかくしょうがいがあり、音が聞こえない人がいます。
友だちがたずねてきてげんかんのチャイムをならしても、気付くことができません。

どのような物があると良いでしょうか？

また、**あなたができること**は何でしょうか？

あると良い物：

あなたができること：



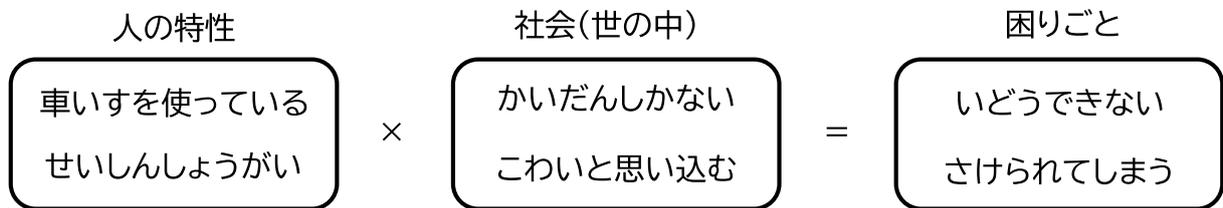
<回答例>

あると良い物：点滅して知らせるライト

あなたができること：紙に書いて伝えるなど

4. まとめ

まとめ（1）



取りのぞくこと
ができる！

「自分に何ができるか」

を考えて行動する。

【ポイント】

- ・コミュニケーションをとる。困りごとを想像し、共感し、「自分に何ができるか」を考えて、行動に繋げることが重要である

「心のバリアフリー」とは

様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、
そうごにりかいを深めようとコミュニケーションをとり、ささえ合うこと



社会(世の中)に、あなたと同じ人は一人もいません。

気持ちや考え方、身体は一人一人ちがいます。

だから、おたがいに話し合っ、分かり合おうとして、ささえ合うことが必要です。

【ポイント】

・特性が人それぞれで、困りごとも人それぞれ。他の人がどのような特性を持っていて何に困っているのかは何も行動しなければ分からない。だからこそ、話し合っ、理解し合うことが大事であることを伝える

宿題（1）

友だちのAさんは、**大きな音が苦手**です。

ある日、**きき手をケガ**してしまいました。

Aさんが学校生活を送るために、

どのような物があると良いか、**あなたができること**は何か、
考えてみましょう！



宿題（1）

■例■

1時間目は、図工です。

教室からグラウンドへいどうして、絵をかきます！



① **どのような物**があると良いでしょうか？

サンダル、台車



上ばきと外ばきを
はきかえなくちゃ

② **あなたができること**は何でしょうか？

くつをはかせる、道具を持つ

道具をたくさん
持っていかなくちゃ



宿題（２）

■例■

ひなんしてきた人の中に、しかくしょうがいのある人がいます。

①**どのような物**があると良いでしょうか？

読み上げアプリ、点字、

しかくしょうがい者用ゆうどうブロック 

②**あなたができること**は何でしょうか？

文字を読み上げる、

行きたいところまで付きそう



<回答>

①読み上げアプリ、点字、視覚障がい者用誘導ブロック

②文字を読み上げる、行きたいところまで一緒に行く